



転居

神戸大学 経済経営研究所

教授 下村 研一

今年の六月、十年ぶりに転居をした。新たな転居で、いくつかの発見と経験があった。十年前と比べて大きく変わっていたのは、電気、ガス、インターネットなどのライフラインのリセットであった。初めての就職から二回転職したこともあり十年前の転居まで数回転居したが、それまでの経験だと、不動産屋さんに行った後のパターンは同じだった。車に乗せてもらって物件探し、物件が決まったら契約書を作成、そして旧居から新居への引越し業者を紹介してもらうことが不動産屋さんから受けたサービスだった。電気は転居後自分でブレーカーを下せば即使用、入居先に針金で括られてあるハガキに必要事項を書き込んで投函すれば、使用者番号の登録と自動引き落としの手続きは終了だった。ガスは最寄りのガス屋さんに行くか電話をするかすれば、コンロを持ってきて開栓してくれた。2000年以降インターネットを自宅に引くようになってからは、業者を自分で選んで連絡すると、ルーターを持ってきてくれてパソコンを初期はケーブルで、後になると無線で接続できるように設定してくれた。プロバイダーとの契約書類はその場で書いて業者に渡した。

それが今回は、ライフラインのリセットも不動産屋さんを通して行われた。理由はわからないでもない。電気とガスの契約に「電気とガスを別々に契約」「電気会社に電気とガスの両方を契約」「ガス会社に電気とガスの両方を契約」という三パターンが出現したのである。不動産屋さんから依頼された担当業者（会社名は電気会社でもガス会社でもない）は電話でその三パターンそれぞれのメリットとデメリットを簡潔に説明してくれた。経済学の考え方に基づけば、三パターンの「メリットとデメリットの差」は同じでなければ、それぞれの顧客が存在しえないことになるので、消費者が迷うようになっていることは理解している。案の定即決は難しかった。でも決めないと生活できないので、「えいや」で決めた。

もっと激変していたのが、インターネットである。不動産屋さんから依頼された担当業者（これも会社名はプロバイダー会社ではない）は電話でいろいろなことを相当な時間をかけて説明してくれた。結論としては、私が借りる物件で選択肢となるプロバイダーは数あるうちの一家しか無いように思えたので、それを選んだ。また今回は設定のための業者の派遣はなく、引越し前の家にルーターとケーブルが取り扱い説明書とともに箱入りで送られてきた。接続できなかつたら、電話でやり方を教えてくれるとのことだった。引越した

晩、転居先で説明書通りやってみたらつながった。プロバイダーとの契約はつながったパソコンで指定のサイトにアクセスし、必要事項を入力して完了した。電気・ガスの使用者番号の登録と自動引き落としの手続きも同様であった。

ここで短歌が一つできた。

電気ガスインターネットの契約は 誰とも会わず 字も書かず

十年前と比べてリセットの形式が変わらなかった反面、内容で大きく変わったのが、散髪屋さんと歯医者さんの変更であった。なじみの散髪屋さんはフランチャイズ店で、家の近くの店舗の店員さんは中年以上の方が多く皆話好き。店内は「床屋談義」で溢れていた。「ウイークデーでも決まって混む日がある」「全然お客さんが入らなくても潰れない理容店が多い」などの謎をわかりやすく解説してくれて毎月行くのが楽しみだった。転居先で、散髪屋さんを探して家の周囲を歩いてみた。馴染の店と同じフランチャイズの店舗があったので、入ってみた。店員さんは若い方が多かった。挨拶以外の会話は、切り方の希望を聞くとき、洗髪前に希望通り切られていることを確認するときだけで、店舗内は他の席も静かだった。

転居前の行きつけの歯医者さんは、地域の老舗だった。十年前は家から徒歩三分以内の歯科は一つだったので、迷わずそこに決めた。予約はいつも混んでいた。それから、徒歩三分以内の歯科は四つに増え、場所も同じ交差点の周囲に集中した。仕方ないことだが、私の行きつけの歯医者さんの患者数は減っていった（ただ予約は取りやすくなった）。三か月に一度定期検診に通ったが、スタッフの数も少しずつ減り、十年間不動のメンバーは院長先生と衛生士さんの中の一名のみになり、私はいつの間にか患者の古株になった。最後の定期検診のとき転居することを話し、すべきことを尋ねた。院長先生は偶然転居先に土地勘がおありだったが、「地域の評判を聞き、その上でご自分で行って見て、かかりつけの歯科を見つけることです」とのこと。納得せざるを得ない誠実な回答だった。十年間担当だった衛生士さんは、帰り際に歯ブラシと薬用歯磨きをいくつも下さり、毎回交付する定期検診のレポートに丁寧なお別れのメッセージを添えて下さった。転居先で、歯医者さんを探して家の周囲を歩いてみた。近くの歯科は転居前の四つどころではなかった。数えるのを途中でやめたほど多かった。「地域の評判」と言っても、引っ越してきたばかりで隣近所の方に聞くのは躊躇したので、ネットで評判を調べてみたが、どの歯科についても「情報ゼロ」か「書き込みはあって1件」のどちらかだったので参考にならなかった。

短歌がもう一つできた。

転居して 散髪屋さんと歯医者さん なじみと別れ 路頭に迷う